

着実な国境通関のアレンジで信頼得る
(カザフAltynkolへの中国Khorgos側ゲート)



Green World Groupロジスティクス

ユーラシア大陸を端から端まで

——安定した輸送品質でネットワーク充実への好循環を生む

CIS諸国やロシア、モンゴル向けに中国やロシア経由での輸送アレンジを得意とするフォワーダーの(株)Green World Groupロジスティクス(=GWG Logistics、北島清一・代表取締役)が、ルーブル安など経済情勢の変動に伴うコーカサス地域やバルト三国といったユーラシア大陸の西部への輸送比重の高まりを受けて、サービス・ネットワークを一段と充実させている。

ユーラシア大陸は、そのうちの中央アジアと呼ばれる地域だけでも、カザフスタン(主要都市: Almaty/Astana)/キルギスタン(Bishkek)/ウズベキスタン(Tashkent)/タジキスタン(Dushanbe)/トルクメニスタン(Ashgabad)のほか、また黒海にも近いアゼルバイジャン(Baku)など対象エリアが広範かつ広大で、日本を含む極東側からは長駆5000km以上の陸上輸送を必要とする内陸国のため、鉄道/トラックを活用した一貫輸送の手配には、熟練フォワーダーの介在が不可欠。

また、複数の国境通関など手続きが煩雑なため遅延が発生しやすく、運賃決済を含めたスムーズなサービスを提供することが難しい地域である。

GWG社は2011年3月創業の新興勢力ながら、経験豊富なスタッフのほか、語学に堪能な新卒社員の入社など戦力の増強により、「毎年、着実に売上を増やしてきている」(北島社長)という。

そして自動車関連を中心としたさまざまな貨物の輸送アレンジで実績を積んでおり、この地域向けでは例外的ともいえる遅延や決済に関するトラブルの少なさを、コンサイニーや提携代理店からも厚い信頼を得ているようだ。

コーカサスやバルト三国などにネットワークを充実させることができたのも、こうした信頼

関係が奏功したため。

GWGは、その部分の輸送に最も適した代理店起用するマルチ代理店体制を採り、経路選定を含め全てを日本側でコントロールしている。

複数業者との連携は煩雑になりがちだが、逆に一元的な日本での掌握により、「他社では不可能なリアルタイムでの貨物トレースも行える」という。こうしたアレンジこそGWGの特色のひとつで、独自の人脈ネットワークを複合的に生かすことで、中国やロシアのほか経由地となるCIS諸国/主要都市ごとにベストの代理店を使い分け、良質なサービスが実現できているのである。

その高い輸送品質は日本側シッパーからも評価を得て、大手商社や大手エンジニアリング会社からも、「多くの見積り依頼をいただくようになった」という。「困った時のGWG」という評価が固まりつつあるようだ。

また大手銀行から、「(優良企業でないとなかなか認められない)為替予約による取り引きができたことで、為替リスクを回避した堅実な経営が可能になった」という。

GWGのモットーは、(Greenを冠した社名の通りに)“地球にやさしい輸送の提供と顧客にストレスを与えない輸送を心がけること”だそうで、「これからも品質第一のサービスにこだわりたい。迅速、確実を意識しながら、リスクを最小限に減らしていく」という。

△

(株)Green World Groupロジスティクス
(GWG Logistics)

<http://www.gwg-logx.co.jp>

〒105-0003 東京都港区西新橋3-1-2 SASAI Bldg. 5階
TEL 03-5472-0025 FAX 03-5472-0020

☆同社の広告は輸出スケジュール頁(Pink Pages)のAlmaty欄に掲載されています。